

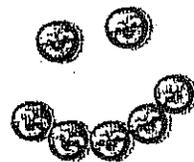


市職労ニュース

自治労明石市職労

No. 338

みんな笑顔
ひとりみんなのために、
みんなはひとりのために。



自治労共済財団

健福予算要求

本日は、決起集会

地域手当削減も大きな焦点

市職労は、健福・予算要求について17日、当局と団体交渉を行った。当局からは「厳しい状況ではあるが、職場環境を含めた人面について、市民の理解と限られた財源を踏まえ、できることから着実に改善を図って行きたい」との姿勢が示された。

今闘争では、地域手当の支給率削減など「給与のさげ」が大きな焦点となっており、25日の県本部統一1時間ストを背景に要求の前進をめざす。

来年度の職員配置計画

組合側が新規職員の採用について質したところ、現時点において行政職（保育士・専門職含む）では、別表のとおり退職者（勸奨退職、普通退職を含む）43人にに対し、35人の採用を予定しているとの回答があった。

また、交通部の事業廃止及び木の根学園の指定管理制度導入による再配置可能な職員数が約22人となっている。

防災・水防体制の環境改善

多発する自然災害への対応について、職員の健康管理や休憩時の環境整備などについては、「職員の交代体制の確立に向け検討を行なっていくことや休憩・仮眠スペースについて、中崎分署棟4階の和室等の活用を図る」との考えが示された。

保育所の改善

臨時保育士が正規保育士を上回る（約6割）状況の中、職場実態を訴え、正規保育士の採用を強く求めた。また、臨時保育士の休暇制度の改善や、フリー保育士の増員を要求している。当局は保育課とも十分協議して回答するとした。

施設改善

庁舎の建て替えについては「適宜検討をすすめていくところであり、庁舎の状況を踏まえ、狭隘化の解消に努めていく」とどまらなかった。

食堂については、「庁舎内食堂の在り方検討会」の提言を尊重し、新たな食堂運営に努めていくとともに、食堂の一部をフリースペースとして開放する予定であると示した。

健福・予算要求闘争日程

- 12月26日(月) 要求書提出
- 1月17日(火) 団体交渉
- 1月18・19日 職場オルグ
- 1月20日(金) 決起集会
13:30～勤労多目的ホール
- 1月24日(火) 拡大中央委員会
役員待機・超勤拒否
- 1月25日(水) 県本部統一1Hスト配置

採用者予定数	
大卒事務	12
任期付弁護士	2
経験者事務	4
高卒事務	1
大卒土木	1
経験者土木	3
大卒建築	1
経験者建築	1
保健師	2
保育士	7
理学療法士	1
計	35

退職者予定数 定年・普通・勸奨含む	
事務	25
土木	5
建築	2
化学	2
保健師	2
保育士	6
理学療法士	1
計	43

明石市職員互助会「すくらむ」のご案内

「すくらむ」の加入手続きができるのは、年に1回この時期だけです。ぜひ、未加入の職員の方は新規加入をお願いします。

【推進期間】

1月16日(月)～1月27日(金)

お問い合わせは、明石市労働組合連合会 事務局まで
☎: 078-918-5083 (内線) 2142

さよなら原発

2・4兵庫県集会

日時 2月4日(土)
午後1時30分開会

場所 明石市民会館

大ホール

弁士 鎌田 慧
(ノンフィクション作家)
武藤 類子
(福島からの訴え)

臨時職員の労働条件改善

非正規職員の雇用形態については、任期付短時間勤務職員制度を導入したが、保育所の保育士などフルタイム職場については、新臨時職員制度を導入するとの考えが示されている。しかしながら、任期付職員と比べ休暇制度などが劣っている。

正規職員と同等の労働条件の改善に向け強く要求している。